

サーバ機の移行方法

- ・今回は OS を Ubuntu とし、サーバ機の保存データのみをコピーする場合の説明とする

1, Ubuntu ディスクイメージのインストール

- ・Ubuntu 公式ホームページ (<https://ubuntulinux.jp/download/ja-remix>) から最新版の日本語リミックス版のディスクイメージをダウンロードする。このときインストールする OS のビット数に注意する。また ISO イメージを選択する。
- ・ダウンロードしたディスクイメージを CD に書き込む。PC に CD を挿入し、ダウンロードしたイメージを右クリックしディスクイメージの書き込みを選択し、ディスクイメージを書き込む
- ・インストールメディアに USB を用いたい場合は、ダウンロードしたディスクイメージを右クリックして、別のアプリで開く→ディスクイメージライターを選択することで USB にディスクイメージを書き込むことができる (Ubuntu の場合)。

2, OS のインストール

- ・インストールする HDD のみがマザーボード、電源に接続されていることを確認し、インストールメディア (CD or USB) を挿入し、電源を入れる。このとき、インストールメディアから立ち上がらなかった場合は、BIOS メニュー (初期画面で Delete) から起動デバイスの優先順位をあらかじめインストールメディアが一番優先されるように設定しておく必要がある。
- ・インストールメディアが読み込まれたら、try Ubuntu without Installing (Ubuntu を試す) を選択し Ubuntu を起動
- ・パーティションを手動で区切らない場合は Ubuntu ○○ (ver No.) のインストールというアプリを起動し、自分の場合に応じて選択肢を決定し、インストールする。
- ・パーティションを手動で区切る場合
 - ・アプリの検索から Gparted というアプリを検索し開く。そこでまずメニューバーのデバイスからパーティションテーブルの作成を選択し、テーブルタイプとして gpt を選択しパーティションテーブルを作成。
 - ・その後、左上の新規パーティション作成のアイコンをクリックし、適宜サイズを選択(推奨 200MB)し、基本パーティションでファイルシステムに fat32 を選択し新パーティションを加える。
 - ・中央上の適応アイコン (チェックマーク) を選択し変更を適応させる。
 - ・新たに作成したパーティションを右クリックし、フラグの編集を選択し、boot,efi にチェックを入れる。これで Gparted を終了。
 - ・Ubuntu ○○ (ver No.) のインストールというアプリを選択し、インストール方法の選択でディスクを削除してインストールなどではなく、それ以外を選択し、パーティション作成画面へ移る。
 - ・作成したいパーティションに区切り、インストールを開始。この際、基本扱うパーティションのファイルシステムは ext4 を選択しスワップ領域のみスワップ領域を選択するとよい。先ほど作成した boot パーティションは変更しない。

3, ソフトウェアの更新

- ・ OS をインストールした HDD から起動
- ・ アプリ検索からソフトウェアの更新を検索し開き, システムをアップデートする

4, リモートログイン, ネットワークの設定

- ・ ほかの PC から ssh でサーバ機にリモートログインできるようにする.
- ・ サーバ機に IP アドレスを認識させる. システムからネットワークを選択し, オプションを選択. IPv4 設定から IP アドレス等を設定 (ex.dream:IP アドレス 192.168.11.4 ネットマスク 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ 192.168.11.1 DNS サーバ 133.6.28.216)
- ・ openssh-server のインストール
端末から openssh-server をインストール (sudo apt-get install openssh-server)
- ・ このとき, ssh でリモートログインをしようとしたときに WARNING: REMOTE HOST IDENTIFICATION HAS CHANGED!というエラーがでてつながらなかった場合は, 自分の PC 内の ~/.ssh/known_hosts 内の記述をすべて消す必要がある

5, 前サーバ機のデータのコピー

- ・ 前のサーバ機の HDD と今回の HDD を両方マザーボードに接続した状態で再び起動, このとき, 今回の HDD から起動するように BIOS を設定しておく必要がある.
- ・ df コマンドや lsblk コマンドなどでコピー先のディスクの場所を確認し (ex./dev/sdb1) /mnt 以下にマウントする. (ex. mount -t ext4 /dev/sdb1 /mnt)
- ・ コピー元の home00 以下にコピー用の.sh ファイルがあるのでそれを参考に, 自分のコピー元, コピー先があっているか, .sh 内のコマンドを確認し.sh ファイルを実行.

6, ユーザー情報の登録

- ・ sudo passwd root で root のパスワードを登録
- ・ adduser -uid 000(UserID) -gid 000(GROUPID) user 名 でユーザーを登録
このとき/etc/group /etc/passwd を参考にグループ ID とユーザーID を指定して登録する.